

# 2009年度日通グループ 経営基盤強化方針

—新たなる飛躍に向けて—



# ビ ジ ョ ン

(日通グループのあるべき姿)

## ◆ グローバルロジスティクス企業

世界のお客様に物流を通じて貢献する

## ◆ 地球への責任を果たす企業

環境への配慮と低炭素社会の実現に貢献する

## ◆ 人にやさしい企業

従業員を大切にし、働きがいを実現する

## 1. 最重要取組課題

急激な世界同時不況により、かつて経験したことのない状況を迎えている。しかしながら、この厳しい時代こそ、将来にわたって確固とした経営基盤を築くチャンスである。従来と同じ経営手法にとらわれず、積極的に改革を推進するとともに、コスト構造の転換を行い、営業力の強化を図っていくものとする。

### A. ローコスト体制の構築

- (1) 現場オペレーションの見直しによる徹底したコスト削減
- (2) 固定費の変動費化と変動費の削減
- (3) 拠点の統廃合と効率的組織運営の確立
- (4) 不良債権の撲滅
- (5) グループ全体での資金の効率化
- (6) 資産の有効活用

### B. 営業力強化のための諸施策の実施

- (1) お客様ニーズを先取りした提案営業の強化
- (2) グローバルロジスティクスへの取組み強化
- (3) 専門特化事業（引越、通運、警備輸送、重機建設、美術品）  
におけるシェアアップ
- (4) 地域密着営業への取組み強化

## C. 小口貨物事業への的確な対応

- (1) 宅配便事業統合の円滑な実施
- (2) 特別積合せ事業の再編成
- (3) 事業構造の変化にともなう拠点の最適配置

## D. CSRの推進

- (1) 省エネによるCO<sub>2</sub>削減、3R (Reduce, Reuse, Recycle) の推進
- (2) コンプライアンスの徹底
- (3) 交通事故・労働災害の撲滅
- (4) 新型インフルエンザに対する的確な体制整備

## 2. 新たなる飛躍に向けた重点推進項目

厳しい状況にある今こそ、次の成長に向けた布石を打つ必要がある。中・長期的視点で、ビジョン達成のための第一ステップとして以下の項目に取り組む。

- A. グループ一体となったワンストップ営業体制の確立
- B. お客様本位の品質・サービスの提供
- C. 人材の育成と活用

(1) グローバル人材、専門性を備えた人材の育成と活用

(2) 熟練・専門技術の継承

D. M&Aによる経営基盤の強化

E. 時代の変化をとらえた新商品の開発

### 3. 実施期間

2009年4月1日から2010年3月31日までの1年間

### 4. 数値目標

#### A. 財務数値目標

項 目	目 標
営業収益	1兆5,800億円
営業利益	313億円
経常利益	366億円
当期純利益	213億円

#### B. 環境数値目標

国内における日通グループ全体の2009年度二酸化炭素排出量は、2008年度排出量と比較し1.5%削減とする。